

令和5年度 伝統建築技能研修(後期) 受講者募集要項

令和 4年 12月 1日

選定保存技術保存団体・一般社団法人
日本伝統建築技術保存会

〒578-0903
大阪府東大阪市今米 1丁目 4-38 川中邸 内
Tel 072-966-2323 ・ Fax 072-966-2325

【 講座概要 】

1. 講座名称 令和5年度 伝統建築技能研修(後期)
2. 定員 20 名
3. 主催者 一般社団法人 日本伝統建築技術保存会

4. 講座開催の趣旨

文化財保存修理等の伝統建築工事に従事する木工技能者を対象に、講義・演習・見学・実習の講座を国庫の助成を受けて開催し、伝統木工技術の保存に必要な知識および技術の習得と資質の向上を図る。前期技能研修終了認定後に後期技能研修が受講可能となります。

5. 受講者への対応

- (1) 研修の全課程を履修後、修了試験を行い、その合格者には認定証を交付する。
- (2) 認定者名簿を作成し、文化庁ほか文化財建造物関連機関へ提出する。
- (3) 認定者は、本会会報に掲載し、社会へ公開する。 また希望者はホームページにも掲載する。

6. 会場

東日本会場 - 八王子セミナーハウス(公財・大学セミナーハウス
(〒 192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1)

7. 受講料 30,000円

8. 受講資格

- (1) 今後も継続して文化財修理等の伝統建築工事に従事することを希望する者。
- (2) 年齢26歳以上(令和5年4月1日現在)で当会の会員(正・準会員)であり、かつ下記 ①～② のいずれかを満たす者。

①	本会の「初級 日本伝統建築技術養成研修」又は「伝統建築技能研修(前期)」による技能認定者
②	(公財)文化財建造物保存技術協会による木工技能認定者

9. 受講申込と受講の認否通知

- (1) 受講希望者は、令和5年1月10日(火)から4月2日(日)までに受講申込書、伝統建築大工の経歴書を本会事務局宛に郵送のこと。(申込書がエクセルによるオリジナルデータの場合は電子申請も可とする)

宛先 : 〒578-0903 大阪府東大阪市今米 1丁目 4-38 川中邸 内
一般社団法人 日本伝統建築技術保存会 事務局

- (2) 記入漏れ、押印漏れ等、不備のある申請は受理しない。
- (3) 受講資格を証する修了証、認定証、免許証等の写しを添付すること。
- (4) 封筒に「後期研修受講申込書 在中」と表記のこと。
- (5) 申請書類に基づき、受講の認否審査を行う。
- (6) 受講の認否通知は5月末日までに申込者宛に送付する。

10. 研修日

研修は2日連続、年間5回、計10日間(予定)

研修日	回	年月日	回	年月日
	1	令和 5 年 7 月 16 日 (日) 7 月 17 日 (月・祝)	4	令和 5 年 11 月 25 日 (土) 11 月 26 日 (日)
2	令和 5 年 8 月 5 日 (土) 8 月 6 日 (日)	5	令和 6 年 1 月 13 日 (土) 1 月 14 日 (日)	
3	令和 5 年 9 月 17 日 (日) 9 月 18 日 (月・祝)	模型提出締切 令和 6 年 1 月 13 日 (土)		

11. 欠席した場合の対処、対応

- (1) 欠席が座学で、16時限以内の場合
 - ① 欠席した授業のビデオ(有償買取)で自宅研修をし、時限毎のレポートを提出をすること。
 - ② レポートの評価が良好であれば、出席したものとみなす。
- (2) 欠席が座学で、16時限を超える場合
 - ① 次回以降の講座に欠席した科目の受講を申込み、補完すること。
 - ② 受講料は別に定める。
- (3) 欠席科目が実技の場合
 - ① 次回以降の講座に該当科目の受講を申込み、全時限を受講すること。
 - ② 受講料は別に定める。

12. 認定試験

- (1) 合否の判定は、別に定める認定規定に依る。
- (2) 試験の結果は個人宛に通知する。
- (3) 不合格者には再受験を認める。 再受験料は別に定める。

13. その他

- (1) 都合により、日程等に変更を生じる場合がある。
- (2) 聴講生制度があります。詳細は事務局までお問い合わせください。

14. 技能研修(後期)カリキュラム表

科目別時限数(単位数) 1時限は50分間(1単位)とする

科目	内容	講師	時限数
日本建築史 II	技術の発達と様式の変遷		6
建築法規	建築基準法による木造建築の規制 面積、防火、耐震、耐風規定等		4
伝統大工技術 II	継手 仕口の働き、種類、変遷、目の錯覚(隅延び等) 古代人の知恵		2
歩掛、積算、見積	工事費、工事費算出の仕方		2
伝統技術 (瓦)	瓦の製作と種類、時代的変遷等		5
伝統技術 (桧皮、柿)	歴史と材料採取、拵え、葺き工事等		5
伝統技術 (数寄屋)	お茶の歴史から茶室の変貌・流派による違い 簡単な構造等 大井の形、網代や藤蔓の編み方、素材の見方、活かし方等		3
			3
実践規矩術 II	隅木の理論と作図実践		24
模型製作 (宿題)	反り軒隅の模型製作 片面 平行極木 片面 扇極木		0
模型製作 (組立・解体)	同上 組立、解体、梱包		2
古建築修理 II	文化財建造物等古建築修理の方法、要点		4
木割と設計・積算 II	木造建築の各部の比率 社寺の設計法、工事量、工事費算出の仕方		6
防災			2
修了試験	大工としての常識、学習の理解度の判定		2
計			70

【 日程、時限割 】

	第 1 日	第 2 日
1 時限		8:30 - 9:20
2		9:30 - 10:20
3	10:30 - 11:20	10:30 - 11:20
4	11:30 - 12:20	11:30 - 12:20
昼食		
5	13:10 - 14:00	13:10 - 14:00
6	14:10 - 15:00	14:10 - 15:00
7	15:10 - 16:00	
8	16:10 - 17:00	
9	17:10 - 18:00	
10	18:10 - 19:00	